2007年度

科目名	対象学科・学年	担当者
国文学演習Ⅱ	研究科前国１回生 研究科後国１回生	浅尾　広良

授業テーマ
『源氏物語』講読―方法としての〈歴史〉を考える―

授業の概要と目標
平安時代に成立した『源氏物語』は、物語の方法として〈歴史〉を多く取り込んでいる。物語の背景となる〈歴史意識〉とはどのようなものなのか。それを考慮することで、物語の読みはどう広がり、また深みを増すのかを考える。前期は、講義を中心として『源氏物語』に見える〈歴史意識〉を解説し、後期は受講者個々人に研究発表を課す。

評価方法
後期の研究発表、出席を総合して判断する。

テキスト	著者	出版社
授業時に必要に応じて配布する。		

参考書	著者	出版社
授業時に適宜紹介する。		

授業スケジュール・内容

1　オリエンテーション、講義のねらい、授業の進め方など
2　源氏物語の本文　古注釈①「古注釈の流れ」
3　源氏物語の古注釈②「物語における歴史とは何か」
4　源氏物語の古注釈③「准拠論の可能性と限界」
5　桐壺巻「女御更衣と賜姓源氏①」
6　桐壺巻「女御更衣と賜姓源氏②」
7　桐壺巻「女御更衣と賜姓源氏③」
8　桐壺巻「藤壺の登場①」
9　桐壺巻「藤壺の登場②」
10　桐壺巻「藤壺の登場③」
11　桐壺巻「光源氏の元服①」
12　桐壺巻「光源氏の元服②」
13　桐壺巻「光源氏の元服③」
14　夕顔巻「河原院怪異譚と夕顔巻①」
15　夕顔巻「河原院怪異譚と夕顔巻②」
16　夕顔巻「河原院怪異譚と夕顔巻③」
17　若紫巻「按察大納言と若紫①」
18　若紫巻「按察大納言と若紫②」
19　若紫巻「按察大納言と若紫③」
20　研究発表オリエンテーション
21　研究発表個人指導
22　研究発表１
23　研究発表２
24　研究発表３
25　研究発表４
26　研究発表５
27　研究発表６
28　研究発表７
29　研究発表８
30　まとめ